

# ロシアの高校生と国際交流

6月26日（火）、「日露青年交流事業」の一環として、サハリンの中等学校で日本語や日本文化を学ぶ16～17歳の学生10名が来校し、本校生徒と交流を深めました。

## ～当日の流れ～

- 12:00 訪問団到着
- 12:10～12:15 校長挨拶、諸連絡
- 12:20～13:00 昼食（ロシア語選択者21名と一緒に）
- 13:05～13:50 1年3組「古典」の授業に参加
- 14:00～14:45 選択科目「ロシア語」「総合芸術」の授業に参加
- 15:15～17:00 校内見学及び部活動体験（書道・吹奏楽・剣道・バレーボール）



最初の交流は、本校で開講している「ロシア語」の授業を選択している3年生21名と一緒に、食事をしながら歓談することから始まりました。初めは手探りのコミュニケーションでしたが、日本語とロシア語、時には英語も使いながら、昼休みが終わるころにはすっかり打ち解けていました。食事の場が図書室ということもあり、一緒に本を見ながら文化の違いについて話し合う場面も見られました。



1日の流れを確認



「好きな食べ物は何？」



昼食後、本を見ながら

5校時には、1年3組の「古典」の授業に参加しました。ロシアの高校生を含む10のグループに分かれて、「由利（ユーリ）」「亜奈星社（アナスタシヤ）」のようにロシア名に当てはめた漢字の意味を調べたり、本人の好きなものをインタビューしながらイメージに合った日本名をつけたりするなど、漢和辞典を用いたグループワークを行い、交流を深めました。



一緒に漢字を調べます



グループごとに活動



日本語とロシア語で話し合い

6校時の前半は「ロシア語」の授業です。まず、自分の名前や趣味等を書き入れた「名刺」を交換しながら自己紹介をし、これまでの学習の成果を発揮しながらロシア語で会話しました。本校の「韓国語」選択者も、その場でロシア語の挨拶を覚えながら授業に参加しました。ロシアの生徒達も、これまで学んできた日本語を積極的に使い、より良く意思疎通を図れたようでした。次に、日本語とロシア語で「ふるさと」「幸せなら手をたたこう」の2曲を全員で歌いました。特に全員で大きな輪になって歌った「幸せなら手をたたこう」では、互いの肩や頬をたたきあったり、ウィンクしあったりと笑顔で心をひとつにすることができました。



「私の名前は…」



「ロシア語で何だっけ？」



♪幸せなら肩たたこう

後半の「総合芸術」の授業では、「琴」の演奏に挑戦しました。総合芸術を選択している生徒達の指導のもと「さくらさくら」を弾く練習をし、短い練習時間ながら、最後には全員で合わせて上手に「さくらさくら」を奏でることができました。



始めに説明を聴きます



「上手ですね！」



全員で「さくらさくら」を演奏

放課後は、校内を見学しながら部活動を体験しました。最初に体験した書道部では、5校時に意味等を確認した「漢字による自分の名前」を書きました。また、自分の書きたい言葉を書道部の生徒に書いてもらい、それを手本に自分でも挑戦してみるなど有意義な時間となりました。



なかなかうまくいかないっ



書き順も教えています



最後に全員で集合写真

その後、吹奏楽部で演奏を聴いたり、剣道部では実際に竹刀を握ってみたり、女子バレーボール部のメンバーとバレーボールのゲームをしたりと、多くの場面で本校生徒たちと交流した1日となりました。



演奏に耳を傾けます



女子バレーボール部の部員達と



初めての竹刀です